

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2015. 4. 10◆◆◆

四国地方整備局長の三浦です。吹く風も柔らかな季節となりました。
今年度も引き続きよろしく申し上げます。

1. 四国圏広域地方計画

昨年の7月、2050年を見据えた国土づくりの理念・考え方を示す「国土のグランドデザイン2050」が公表され、これを踏まえて全国計画と広域地方計画の見直しに着手することになりました。全国計画は今年の夏頃の閣議決定を、また、広域地方計画は来年早々の策定を目指しており、四国圏におきましても計画の見直し作業をはじめ、3月23日に第1回目の「四国圏広域地方計画協議会」を開催いたしました。

とりまとめにあたっては、

- ・ 総花的ではなくポイントを絞ってまとめる
- ・ 四国が一つになって統一的に取り組むプロジェクトを位置づける
- ・ 広く知ってもらえるように工夫をこらす

を基本方針に、見直し作業を進めてまいりたいと考えています。

2. 四国八十八景プロジェクト

四国地方整備局は、四国経済連合会、四国ツーリズム創造機構、四国運輸局と一緒にあって、本年度から、東京オリンピック・パラリンピックに向け、より多くの人に四国を訪れてもらえるよう四国の新しい観光資源をつくる「四国八十八景プロジェクト」をスタートさせます。

ポイントは、「見る場所」を選ぶです。詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.skr.mlit.go.jp/pres/h26backnum/kikaku/141217/141217-1.pdf>

平成27年度後半には公募を始める予定ですので、幅広い応募をお待ちしております。

3. ストック効果の発信

今年は四国に高速道路ができて30周年の節目の年にあたります。高速道路の整備に伴い、例えば、南予の養殖鯛の全国シェアは50%以上に伸びました。こうした、社会資本整備が日々の暮らしや経済活動に大きな効果をもたらした事例、いわゆる「ストック効果」を幅広く知ってもらうための情報発信を積極的に進めていただければと思います

4. 平成27年度予算

- (1) 国土交通省関係の平成27年度予算は、
- ・ 東日本大震災からの復興加速
 - ・ 国民の安全・安心の確保
 - ・ 地域の活性化
 - ・ 成長戦略の具体化
- の4分野に重点化し、施策の効果の早期実現を図ります。

四国の予算は全体額で	3, 282億円(対前年1.05)
うち、直轄	1, 407億円(対前年1.02)
補助・交付金	1, 875億円(対前年1.06)

直轄事業別

治水事業	46,229百万円	海岸事業	9,870百万円
道路事業	70,049百万円	港湾事業	9,307百万円
空港事業	1,150百万円	都市水環境整備	431百万円
国営公園等	676百万円	営繕事業	3,027百万円

補助・交付金関係の県別

徳島県	32,752百万円	香川県	24,798百万円
愛媛県	63,697百万円	高知県	66,224百万円

となっています。

(2) 新規事業

今年度は、昨年の台風11号、12号で被災した箇所の上浸水対策を新規事業化します。

[徳島県] 那賀川床上浸水対策特別緊急事業(加茂地区)
吉野川総合水系環境整備事業(三庄地区)

[香川県] 市道高松海岸2号線 屋島大橋大規模修繕(補助事業)

[高知県] 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)
仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)
仁淀川総合水系環境整備事業(江尻地区)
町道仁淀吾川線 大渡ダム大橋修繕代行

(3) 完了・供用予定

主な完了(供用)予定事業は、

[愛媛県] 肱川直轄河川改修事業(沖浦・小浦箇所)
国道56号 伊予インター関連(伊予市上吾川~下吾川)
松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業(岸壁の完成)

[高知県] 国道55号 高知南国道路(なんこく南IC~高知龍馬空港IC)
国道33号 高知西バイパス(枝川IC~天神IC)

予算の概要はホームページでもご覧になれます。

http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosangaiyo27/index_27jikkei.html

四国地方整備局長

三浦 真紀

■平成26年度「手づくり郷土賞」認定証授与式の開催について

【企画部 広域計画課】

「手づくり郷土賞」とは、昭和61年度に創設され、平成26年度で29回目の開催となる国土交通大臣表彰です。地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、全国の模範となるよう好事例を広く紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層進むことを目指しています。

今年度、四国から一般部門2件の応募(全国:大賞部門9件、一般部門34件)をしたところ、審査の結果2件とも認定され、四国地方整備局長から活動団体へ認定証と盾をお渡ししました。

・四万十川と共存するツルの里づくり事業 (ツルの里づくりの会)

地元中村市(現四万十市)が、ツルの絶滅を防ぐ「ナベヅル・マナヅル分散プロジェクト」
ページ(2)

エクト」の検討地となったことをきっかけに、平成18年にツルが安心して過ごせる里山環境づくりに取り組み始めました。

ツルの飛来状況などの独自調査を活かしたツルのえさ場・ねぐらづくりに加え、今では地元小中学校と連携した体験学習会、「つるの里祭り」など幅広い活動を行っています。選定委員会では、地元農家、学校、世代間とさまざまな連携により、四万十の豊かな自然の保護と地域活性化に貢献している点などが評価されました。

・しまなみ海道を活かした自転車まちづくりプロジェクト
(特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ)

平成17年頃より愛媛県今治市、上島町の島嶼部などの「しまなみ海道」をメインフィールドに、「自転車地域おこし」を目的として、自転車ツアーのコーディネート、安全啓発、人材育成、自転車旅行者受入等を実施し、自転車休憩所「しまなみサイクルオアシス」などサイクリストと島民との交流の場づくりを進めています。

選定委員会では、しまなみ街道の魅力を味わい尽くすような企画であること、四国外の人が地域にやってくるきっかけを創造していることなどが評価されました。

■国営讃岐まんのう公園「春らんまんフェスタ」開催

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園では、3月21日(土・祝)から5月10日(日)まで『春らんまんフェスタ』を開催しています。

4月上旬は飛竜の花道で100品種20万株のスイセンやサクラなどがお楽しみ頂けるほか、4月中旬頃からは花竜の道で37品種5万本のチューリップ、森などで自生種の花木オンツツジが咲き誇ります。その後もネモフィラ、ポピー、ルピナスなど、5月末まで園内各所でフラワーリレーが続きます。

期間中は週末を中心に、本格的なお抹茶が楽しめるお茶席や粘土をこねてオリジナルの作品を作る陶芸教室など各種体験教室のほか、「満濃池湖畔ウォーク」や「紙飛行機教室」など盛りだくさんのイベントを開催します。

4月29日(水・祝)は地元の伝統芸能披露やステージショーのほか、抽選会や特産物販売などがある『まんのう町の日』を開催、5月9日(土)・10日(日)は、毎年好評の『第5回四国B級ご当地グルメフェスタinまんのう公園』を開催します。四国4県のB級グルメがまんのう公園に集結するほか、茨城県のハム焼きや福岡県の博多からあげなど四国外からも多数出店します。

皆様、ぜひ国営讃岐まんのう公園の『春らんまんフェスタ』にご来園ください。

※4月29日(水・祝)、5月4日(月・祝)、5月5日(火・祝)は入園無料日です。(5月5日はこどものみ入園料が無料です。また、各日とも駐車料金が別途必要です。)

※季節の花情報や旬のイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。(http://www.mannoukouen.go.jp/)

■一般国道192号 徳島南環状道路が部分開通
(上八万IC～徳島市八万町橋北 延長2.2km)

【徳島河川国道事務所】

徳島河川国道事務所が整備を進めてきた「一般国道192号 徳島南環状道路」のうち、上八万IC～徳島市八万町橋北間(延長2.2km)が暫定2車線にて、平成27年2月28日(土)午後3時に開通となりました。

当日は、午前9時30分より徳島市八万南小学校において、徳島県、徳島市、徳島河川国道事務所の主催で開通式典を執り行いました。式典には、国会議員、徳島県知事及び関係者など151名の方々にご出席いただきました。

式典では、はじめに徳島県知事、徳島市長(代理)、四国地方整備局長より主催者
ページ(3)

挨拶があり、続いて来賓の方々より祝辞をいただき、その後、来賓紹介、ビデオレター、事業経過報告、祝電披露が行われました。

また、式典の最後には徳島南環状道路の開通を祝い、地元八万地区あじさい連による阿波踊りが披露され華やかな雰囲気で行われました。

引き続き開通区間の終点側である徳島市八万町橋北において行われた開通セレモニーでは、ゆるキャラのすだちくん（徳島県）、トクシィ（徳島市）、かわに〜ズ（徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会）、インディーくん（徳島インディゴソックス）も参加し、徳島市八万南小学校の生徒及び徳島市立八万南幼稚園の園児にも参加いただき、徳島市八万南小学校ウインドアンサンブルの児童及びOB・OGによるブラバンド演奏にあわせて「テープカット・くす玉開披・風船飛ばし・開通記念パレード」が行われました。

また、その後地域の皆様や小学生、幼稚園児のほか徳島インディゴソックスの選手も参加した開通記念ウオーキングが開催されました。

今回の開通により、徳島南環状道路が国道55号と国道438号をつなぐバイパスとして機能を発揮し、局部に集中する交通が分散することで慢性的な渋滞が緩和し、神山町・佐那河内村等と徳島市との通勤や休日の移動がスムーズになるなど多面的な効果が期待されています。

引き続き残る区間の全線開通に向け、事業を推進していきます。

■一般国道55号 大山道路が開通
～信頼性の高い生活道としての機能を確保～

【土佐国道事務所】

土佐国道事務所が平成16年度より整備を進めてきた「大山道路(延長2.0km、うちトンネル区間が1.3km)」が完成し、平成27年2月28日(土)に開通式典・現地セレモニーが開催され、同日午後5時に開通しました。

今回の開通により、台風等襲来時の越波箇所や過去の被災箇所が回避され、救急搬送の信頼性が向上すると共に、平成27年4月から開催される「高知家・まるごと東部博」をはじめとする高知県東部地域の観光施設へのアクセスを支援します。

また、安芸市立伊尾木小学校で行われた開通式典には、地方選出の国会議員の方々や高知県、近隣市町村の関係者など約150人の方々にご参加頂きました。主催者である安芸市長の挨拶に続き、四国地方整備局次長より「本日の開通を迎えるに当たって、用地協力をはじめとする関係者の方々からの多大なるご支援・ご協力の賜と心から感謝を申し上げます。」との挨拶の後、来賓祝辞、事業経過報告、祝電が披露されました。

開通式典に引き続き、現地セレモニーでは地元住人の方々約400人の参加のもと、地元小学生による元気いっぱいの伊尾木太鼓の演舞を皮切りに、高知県知事挨拶、テープカット、くす玉開披と続き、白バイ先導による自衛隊・消防・国交省の緊急車両記念パレードが行われました。

今後も、土佐国道事務所は、国道55号の信頼性向上と地域の活性化に向け、高知東部地域の道路整備を進めていきます。

■重点「道の駅」選定証授与式・交流会の開催について

【道路部】

国土交通省では、「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施することとしており、全国1,040箇所の道の駅から、全国モデル「道の駅」(6箇所)、重点「道の駅」(35箇所)及び重点「道の駅」候補(49箇所)が選定されました。

【重点「道の駅」選定証授与式・交流会】

四国からは、全国モデル「道の駅」として「内子フレッシュパークからり」が、重点「道の駅」として「しまなみ海道周辺「道の駅」」、「ゆずはら」、「かわうその里すさき」の3箇所が選定され、平成27年2月26日に砂防会館別館（東京都千代田区平河町）において、国土交通大臣による選定証授与式が開催されました。その後、全国「道の駅」連絡会の主催により、各「道の駅」が取り組みをPRする交流会も開催され大盛況のうちに閉会となりました。

【重点「道の駅」候補選定証授与式】

重点「道の駅」候補となった「大歩危」と「日和佐」の2箇所については、「大歩危」を平成27年3月12日に、「日和佐」を平成27年3月13日にそれぞれの「道の駅」において四国地方整備局長より選定証が授与されました。

今回、選定された各「道の駅」に対しては、関係機関と連携し重点的に支援していくとともに、その他の「道の駅」に対しても、引き続き、道路管理者による基礎機能の向上など「道の駅」全体の活性化に取り組んで参ります。

■高知空港インター線開通式典

【高知港湾・空港整備事務所】

2月28日に高知県および高知港湾・空港整備事務所の主催で、開通式典を執り行いました。式典には地方選出の国会議員、高知県および周辺自治体の関係者や地元空港・工事関係者など、約120人の方々にご出席いただきました。

高知空港インター線は、高知空港から国道55号線に至る延長2kmのバイパス道路として、平成17年より高知県の事業として進められてきました。この高知空港インター線の事業に併せて、高知空港内へのスムーズなアクセスを可能とするため、高知港湾・空港整備事務所にて平成23年から空港内の構内道路の整備東側における市道拡幅区間への接続、駐車場への出入りの安全性向上のための出入口部の変更など高知空港構内道路について改良工事を実施してきましたが、今回、一体的に完成の運びとなりました。

式典は今回開通する高知空港インター線上に設営された会場において、午前10時より主催者である高知県知事からの主催者代表挨拶の後、来賓祝辞、工事経過報告や祝電が披露されました。引き続き、ファンファーレを合図にテープカット、くず玉開披の後、通り初めを行い閉会いたしました。

今回、高知空港インター線並びに空港構内道路の開通により、高知空港への交通アクセスが強化され、移動が円滑かつ利便性の高いものとなりました。平成27年度には高知東部自動車道（高知南国道路）の供用も予定されており、当地域の産業活性化や観光振興の大きな力となるものと期待しております。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

***** 「いきいき四国通信」事務局 *****

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部
【担当】石井（内3126）、仙波（内3176）
〒760-8554 高松市サンポート3番33号
電話（087）851-8061/FAX（087）811-8408
<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

いきいき四国－4月配信版.txt